夕刊 磐城新聞
五月二十四日發行
發行所 磐城新聞社
(日曜祭日翌日休刊)
東京振替一〇六五五八番

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩 北の風雲多く小雨
明日 北西の風天氣よくなる

兎の耳と禮儀作法(七)

佐波古直胤

鴉の中に、たまにアホウ〳〵と鳴くのがあります。恰も萬物の靈長を嘲弄するが如く聞こえておだやかではありません。鴉の雌雄せんやなどといふ言葉は人間の名譽にかけても一刻も早く驅逐してしまひたいものだと思ひます。その中いつか彼等の急所を摑んでおとなしく鴉はカア〳〵と啼かせねばならぬと思つて居ります。

餘談が長くなりましたから本筋へ戻りませう。禮儀作法の禮は天地自然の法則に根源し、人事の規範として秩序を定むるものであります。伊邪那岐命、伊邪那美命の此の國土を堅め作り成せる修理固成せられ祭を戴く時に於ける儀先な後、即ち男を先にし女を後にする禮は前に陳べましたが、これ固より天理に據らせ給うたものであつて此の禮が靈理に從ふのと然らざるとによつて、其の盛衰に良不良の結果が出て來ますことは昭々乎として明らかな事であります。でありますから禮は國を治める上に、家を齊ふる上に、身を修める上に、必要缺く事の出來ないものであります。物があれば必ず則があります。天地必ず則がなければなりません。道理がなければなりませんそれは即ち天理天則に從ふことであつて、其の位を保つことであります。即ち天を天とし、地を地とし、上を上とし下を下とし、陽を陽とし陰を陰とし、本を本とし末を末とし、左を左とし右を右とし、貴きを貴しとし、卑しきを卑しとし、重きを重しとし、輕きを輕しとする等皆其の位を保つ意味であります。吾々は伊邪那岐命、伊邪那美命御二柱の神様の後裔であります。然して吾地の氣をうけて此の天地の間に生活をして居ります。でありますから人は一個の小天地。小宇宙と云はれます。人事の儀則はどうしても天地自然の理の外に出る事は出來ません。

禮は天地の節分であり人事の儀則であります。然し人事の儀則は天地自然の外に出でません。日本書紀に「清陽者薄靡而爲天、重濁者淹滯而爲地、故天先成而地後定」とあつて、清陽なる者は先づ薄靡して天となり、然る後重濁なるものは淹滯して地と定まる、この様に天成り地定まつて四時服從してまゐります。

平局俳黎會 五月句會互選句集

○つやゝかに磨かれし台や櫻鯛 碧笑
○櫻鯛店頭の灯をはじきゝ 同
○櫻鯛つゝましく祝ふ子の誕生 同
○武のほまれ門出に一荷の櫻鯛 華岳
○大盟に帶添へて祝ふ櫻鯛 三因
○錦の腑に白光にじみ居る櫻鯛 青風
○櫻鯛色鮮かに俎の露 秋朗

淨光院 探玄 小野勝季

古松老柏曉煙深
金壁雕梁殿且森
不斷香煙篆文浮
靈場眞箇滌塵襟

5月25日
△楠正成湊川に戰死(延長元)△エマスン生る(一、八〇三)△イプセン死す(一、九〇六)△寺內北支、畑中支兩指揮官前線で劇的會見(昭和一三)

○
晩春の納屋で桑葉をもぎながら、女の言ふを信じたか！ 俺 幸助

恩讐無道

(108) 久我蕗多郎 香川三十代畫
「人の巻」 呼ぶ渦紋 (十四)

長谷川町から銀座までの道は、ともすれば泣きしやくつてゐるお香代なのである。

愼吾とお香代のこの兄妹が、兄想ひであり、妹想ひの、好もしい兄妹であることを知つてゐる惣介は、お香代がいたゞ使ひを受けただけで知つた兄愼吾の病狀がどんなものであるか、それを案じ、心を痛めて、胸もつぶれるばかりにいつか知らず、涙ぐんでゐるのであることを思つた。

そうなのだ。だから、お香代はくづれかゝる胸の不安に涙のうちに幾度か、倒れやうとした。

その都度、惣介がやさしく支へて、いたはつてやるのである。

『おか代さん。確かりなさい。元氣をさしなつてはいけない』

『……す、すみません』

『泣くなとはいはないが……今のあんたには、兄さんを勵まし、あげねばならないといふ、仕事があるんだから……』

『だつて……』

と、お香代は、暗い道で喰ひ入るやうな目をあげて、ちつと惣介を見る。散り際の白い花のやうに、はげしく顔を振つて聲をふるはし

『だつて……勵ましてあげる兄がもうこの世に居なかつたら……わたし……あたしは、どうすればいゝんでせう』

心に秘めてゐたこの言葉を、口に出していふことが、どんなに恐ろしいものであるかといはんばかりに、娘は、身ぶるひして見せるのだ。

惣介は、蹴上げられたやうにハツとする。

本當にさうである。自分もひとかにそれを案じてゐる。もしそれが事實であるとしたら——おか代は？

（いや、これを考へてはいけないのだ）

自分まで、その同じ考へに迫り付いてはならないのだ。どこまでもそれには悟然として居らねばならないのだ！

さう氣持を飜へして、毅然と。

『昔、武士の家の者たちは立派な覺悟を持つてゐたのを、お香代さんは忘れたのか。いゝや、お香代さんは武州武士の家の子であつたさうだ。確かに、武士の家に生れた誇り高い娘ではなかつたのか？』

おか代は默つてしまう。恥ぢ入る目を伏せたことが、惣介には、いぢらしくも、また、けなげに雄々しく見えた。

『さ、急がう。おか代さん運は天に任して、とにかく急がねばならない』

『……は、はい』

うなだれてゐたおか代は、惣介の歩調に負けないとばかり、懸命に驅ける。

銀座に出た。

晝間、きらびやかな繁華さを見せるこの町も、いまは、死んだやうなしづけさの中に沈んでゐる。たゞその一角にあるワドソン商會の表ばかりは、うちらのアカアカとした灯の色を、長く路上に横たへてゐるのだ。

そこに、一台の馬車が停まつてゐるのを、惣介とおか代は、チラと見たきり、すぐ出入り口になつてゐるガラス戸を押した。

ちやうど、店の間と奥の仕切りになつてゐるところで、色を失つてゐる店員と立話をしてゐた立派な恰幅の異人が、はいつて來る二人を見て。

『おゝ、フカミさん』

と呼んだ。

これは、ルウ。ワドソン氏である。

いまはもう、習慣になつてゐることで、惣介は直立して會釋した

『これは……』

『大變なことが出來ました。フカミさん、よく來てくれましたね』

『こちらは、傷を負つたといふ難波愼吾君の妹さんですが……難波君は、どうしてゐますか？』

御誂ひも既製品も 髙島屋洋服店

銘木(床ノ間材) 天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
「丸」織田材木商店へ
福島縣平市 電話平四六〇番
一變せる勉强振りを是非一度お試しを乞ふ
營業種目 建築木材一式 銘木・ベニヤ板 秋田產杉四分板 建具材・便利瓦
◎小店員募集 年齡十五歲ヨリ廿歲迄

メガネ專門の店

メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
平市本町二丁目 玉屋

此度組織を會社に改め營業の充實を圖ると共に統制下にある吾等は國策に順應して御得意各位樣に精々御便宜を計るべく社員一同努力仕るべく候間倍舊の御引立を御願申上候
鐵棒、平鐵、しやふご
鐵管、各種レール類
部品中古入荷仕り候間精々御注文相願度同諸機械類各種取扱へ御來駕を御待申上候。敬具
海軍工廠御用達
KS 合資會社 平銅鐵機械商會
平市鍛冶町九(電話五二二番) 電略(イ) 又八(イ七) 振替東京一五七五二二番
倉庫 平市鍛冶町卅三番地 平市鍛冶町九番地

病室・手術室完備
產科婦人科 醫學博士 五十嵐雄二
(物理療法科併置) (入院臨時)
平市新川町(電話三六九番)

外科、內臟外科 エツキス光線科 (新設) 產婦人科
院長 安齋 徹 醫學士 黑澤 廣
入院隨意 平市四町 安齋醫院 電話四七五番

東北の最高酒
登錄商標 金紋 大吟釀 花娘 防腐劑ヲ含マズ
山形縣小松町 嵐山酒造株式會社釀造

登錄商標 霞城 壽 銘酒
山形市七日町 虎屋酒造店釀造
發賣元 上總屋商店 平市三 電話七三一番

女店員募集 資格・通勤・十七才ヨリ二十五才マデ 〆切期限・申込五月三十一日マデ…… 大黑屋洋品店
小店員募集 資格・住込・十三才ヨリ十八才マデ 申込 五月三十一日マデ…… 大黑屋洋品店

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
關內藥局 電話四〇番

家政婦 各御家庭向きの會員を急派します。
※會員募集※ まじめでよく働ける御婦人を募ります。會員御希望の方は御來談下さい(寄宿の便もあり)
▼銃後は共に働きませう
磐城家政婦會 平市五丁目 渡邊 猪狩かく方 電話四九一番

耳鼻咽喉科專門 大和田醫院 平市南町一六番地 (入院病室完備隨意) 電一七〇番

科外生徒募集
一、邦文タイプライター科
●時代の尖端を行く昭和婦人の職業
入學は毎月 隨時
卒業期間 四ケ月(高女卒程度) 十ケ月(小高卒程度)
●卒業者の就職紹介は各方面と連絡を有し斡旋致します
一、洋裁科
入學は毎月 隨時
卒業期間 本科 一ケ年 速成科 六ケ月
文部大臣認可 平陽女學校 (平市 電話四四五番)

皮膚科 泌尿器科 性病科 專門
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町 江尻醫院 電話六九一 醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

◆內科・小兒科 院長 前田
◆外科(內臟外科、花柳病科)
◆產婦人科 副院長
◆耳鼻咽喉科 副院長 見玉秀純
X光線科
(手術室入院室完備)
前田醫院 植田町本町 電話一二四番

手不足に惱み乍ら 全面的赤字の大勢挽回
中旬間の常磐送炭量

統後の産業擴充計畫とは凡そ對蹠的な人飢饉から前旬迄に於て近來に無き全面的赤字の寂寥を漂はせた常磐各山元發送炭量は中旬十日間に於ける事業用が九百六車一萬三千八百五十屯を增し鐵道用が百十車の減少と反對に量に於ては二百十九屯を增して居るので結局に於ては中旬間に七百九十六車一萬四千六十九屯の增で前旬の減少を塡め合せ上中旬を通算して尙は八十一車八千八百四屯の增加を見せてゐる。十一日以降二十日迄の發送高は次の如くである
事業用六、〇〇五車七六、七五一屯 鐵道用一、一五六車一、六五五屯 合計七、一六一車九二、五九八屯

發明展覽會 出品勸誘

市では特許局が發明考案の普及發達をはかるため今秋十一月一日より十四日迄東京市丸の內三丁目府立東京商工奬勵館內に開く第七回特許局發明展覽會へ出品方勸誘中、希望者はこの二十八日迄市役所產業課に申込まれたく出品物は十月二十五日より二十九日迄會場に搬入することになつてゐる

娘さんも大拂底
電話事務員志望減少

以前電話事務員と云ふと親の膝もとから通勤し乍ら何時の間にか嫁入仕度が出來る便宜から高女卒業生中などから迄多數の志望者があり、採用試驗の競爭も相當激しかつたものであるが、近來一般事業界の異常なる彈力は此所にも亦可なりの影響を見せて最近志願者が滅切り少くなり過般の試驗には二十四名の採用に對して僅數五十名より無くこの方面の就職難は時局柄殆ど解消した樣である。因に前記採用者中差當り十六名を養成中で他は第二次養成として今秋頃入所せしむることである

とになつて居ると

海軍講習會
軍艦長鯨艦上で

本年度艦上簡閱點呼のため來月十三日小名濱入港の軍艦長鯨艦上で行ふ海軍講習會に縣が時局に鑑み靑年學校長、敎員及び指導員に對し生徒の敎育上海軍々事に關する一般の智識事項を修得せしめ靑少年に海軍思想を注入、長期建設下に處せんとするもので受講希望者は來月二日迄に縣へ申込み當日午前八時迄に乘艦、午後二時迄に終了の見込みである

出席約三千人
來月の縣下敎育會に 地元で斡旋準備に着手

福島縣敎育會春季總集會は來月九、十の兩日市公會堂に於て開催銃後敎育の振興に就き、諸般の協議が行はれるが當日は總理君島知事、會長和田學務部長以下會員約三千名が出席の見込みで市敎育會では地元の關係から目下その斡旋等に就き寄々準備中であるも一體この集りは中通り、濱通り、會津と年々會場を持ち廻る斯の方面唯一の大掛りな行事として開催地元としては若干の支出或は勤勞に服す場合もあつたが今回は時局柄市の協贊的施設も行はれず僅かに市の補助に部會の支出を加へ時局柄關係の斡旋に止める意嚮らしいが兎に角三千人の多數敎員が一時に入り込む事とて市內外の旅館等は相當の混雜を見るものと豫測される

國庫補助を增額せよ
新設授產所の維持經營に 平市助成會から要望

約百名の女性を收容し得る軍人遺家族の新ホーム『平授產所』は既報の如く工費三千五百圓、市內堀江工業の請負ひで新川南平商業東方に新築工事を急いでゐたが愈よ此程竣功したので昨二十三日關係者の檢査を濟ませた
近く現在の平陽女學校からお引越しをする筈であるが設備は當分現在のまゝで漸次これを擴張し將來は一般貧困家庭の婦女子をも收容したいといふ
これを建てた市社會事業助成會では今後一層內容の充實强化をはかるべく意氣込んでゐる矢先きにも拘らず肝腎の資金に乏しいので此程開かれた方面委員會で國庫補助の增額要望を協議、先進地と步調を合せてこれが實現運動に入つてゐる

海軍記念日近づく
講演、體育、武運祈願 各方面の行事決る

戰時下一入意義深き來る二十七日の海軍記念日に於ける催しは例年の如く郷軍海軍班の武運祈願、翌二十八日午前中(午後一時)市公會堂(同七時)に於ける市、郷軍聯合主催の寺垣大佐講演會の外學校方面の行事左の如く、何れも體育方面を選んで前線にも劣らぬ銃後學生の意氣を示す筈
(平商)平—草野間往復マラソン(磐女)午前九時から正午迄同校庭で小運動會(第一)各學年毎に遠足(第二)强行軍、午前七時出發(第三)午前八時から各校生陸上競技會
・・・・・・
四倉校の行事 四倉小學校では當日勅會で篠原校長訓話、午前中は校庭で小運動會、午後四倉海岸で自由運動

陣中を聽く
……………(400)……………

既に七八十度內外 日增しに暑くなる
市內南町出身 山田圭稅君(信通)

前略御免下さい、郷暖の候と相成り、日增しに暑さ加はりしも多忙なる事務に餘暇も無く毎日長き日を短かに送り居る事でせう、誠に御苦勞様です。其後私も變りなく元氣に每日勤務に演習に勵み居りますから御安心下さい。此方等も暑さ日增しに嚴しく相成りて日中は七、八十度にもなりて演習には一と苦勞、其中に見る大陸的風景農民の姿はのんびりして居り、すく／＼伸びる千草木々の新芽は東洋平和を告げる如く見えます。苗代苗も三寸位に伸び居り田植えの準備も盛りとなつて來ました。御家內御一同樣、銃後皆々樣御身御大切に。簡單乍ら御一報迄

御支援多謝
平市出身 小澤宣雄君

時下炎陽の候と相成り候處其後皆々樣には益々御健勝にて業務に御精勵の事と遙かに前線より拜察致し居り候。
小生出動以來種々なる御懇情を蒙り御厚志の段幾重にも厚く御禮申し上候。今回は御懇篤なる御慰問品御送り付下され誠に嬉しく拜受仕候。郷土皆々樣の御熱誠なる御支援に對し高恩の萬分の一にも報いん覺悟に御座候。何卒此儀は御安意下され度候。先は亂筆にて御禮旁々御返事申し上候

銃後意識の振作に 國旗揭揚塔を新設
研町の皇紀記念事業

學校其他各種團体に於ける紀元二千六百年記念事業は漸く時期が接近するに隨ひ各方面に續々計畫の具体化を示しつゝあるが既報當町の外市內研町靑年分團でも他町內に魁け會員の醵金、勞力及び現品提供等により松ヶ岡公園入口に高さ十餘間の國旗揭揚場を設け今秋祝祭日其他國民精神昂揚に關する各種催しに當つてその都度ここに大國旗を揭げ大に銃後の緊張に資する事となつたが他町でも漸を追ふて此種記念事業を行はれんとする形勢にある

眠れ「物言はぬ戰士」
松ヶ岡に慰靈碑

平署管內牛馬商組合では既報の如く工費八百圓で『物言はぬ戰士』として前線に斃れた軍馬の慰靈碑を建立することゝなり、これが豫定敷地たる松ヶ岡公園忠魂碑脇の市有地借用願ひが出たので市當局では今二十四日土木委員會を開いて協議した、碑の總高さ十一尺(碑石)仙臺石材市二尺高さ七尺(土台)靑玉石コンクリート高さ一尺(基礎)西小川白御影石三段積さ六尺五寸、巾四尺、高さ三尺

茶代は全廢のこと
植田旅館業組合で協定

植田署管內二町八ケ村の旅館業者は今回旅館業組合を結成、宿泊料を(一等地)五圓、四圓(二等地)三圓五十錢、三圓 二圓五十錢 二圓(三等地)二圓五十錢、二圓 一圓五十錢(四等地)二圓 一圓五十錢 一圓二十錢 一圓以上の通り協定、半泊料は宿料の三割、茶代は全廢女中のチップも五圓未滿は二割 五圓以上十圓未滿は一割五分、十圓以上は一割ときめた、新役員左の如し
組合長牧野進、副組合長川中安次郎、鈴木定助 會計志田うめ

朝日映寫會

東京朝日十六ミリトーキー映寫會は二十五日午後六時から平商校庭に開く

鼠賊

宮城縣名取郡六鄕村生れ山田良次郎(四三)は去る二十日夜市內長橋町吉野鐵工所からトロツコの車輪一個(十二圓餘)の外數件の盜みを働き平署に檢擧、內郷村小島府物拾ひ菅波友次郎(五三)は山田の盜んだ品を古物屋へ賣る仲立ちをしたことで發覺臟物牙保罪で取調べを受けた

勞力移動班結成
農繁を前に農會大童

郡農會では田植季を前にして愈よ勞力移動班を結成することゝなり二十八日午前十時から平園体事務所に關係七ケ村當事者を招いて協議、一村五班位の方針で結成方を奬勵する

京城から
牛島ホテルにて 野崎滿藏

十九日午後七時東京驛發二十日午後七時半下關着午後十時三十分發汽船は各等滿員、十時五十分發臨時船に乘船、二十一日午前六時半釜山着、午前七時半新京直行の急行列車に乘車、各等立錐の餘地無く午後三時十分京城着。汽車汽船とも釜山京城等の東亞興隆の殷賑を溢せる、昭和七年の旅行とは比較の言葉も無之候 皆々樣に宜敷願上候

自殺体漂着

去月十九日神經衰弱で双葉郡久之濱町岸鰐ヶ淵に投身自殺した市內胡麻沢鈴木甚三郎養子庄吉(三一)の死体は約一ケ月振りで附近に漂着した

姐さん連献金

市內田町藝妓置屋林家方の姐さん左記六名はお小遣各一圓を軍事後援會へ寄附
野口千代の、磯上つや、粟いち、信夫ツネ子、門馬シツ子、岡部シゲヨ

家庭料理 けふの獻立
平保健所榮養指導員 成田君子

筍飯

筍	七〇瓦	約一九匁
豚肉	三〇	八匁
油	八	二、一匁
しらす干	一〇	二、七匁
人參	一〇	普通丸五分位
大根	四〇	三月大根一寸五分

計 蛋白質一一、九瓦 溫量一九一カロリー

〔調理法〕筍と豚肉は細かく切り、豚肉をあぶらで炒め、筍と共に砂糖、醬ゆで味をつける、飯に筍、肉、煮汁を混せる、大根、人參は卸とし、しらす干を和へ、砂糖、鹽酢で味をつける

二十五日〔小名濱潮候表例〕
滿潮 前五、五五 後九、〇五
干潮 前〇、三〇 後一一、一〇

暦 新五月二十五日 木曜 舊四月七日 壬戌 佛滅 執 角宿

新判定鑑製 東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部神宮館

▲一白 左右より支持せらるれども身上に紛擾起る▲二黑 一家足並みを揃へ決心堅く進めば吉目たり▲三碧 氣分を新たにし奮闘すればたい願し來るべし▲四綠 盛がえを運ぶやうに願からたゆまず勵むべし▲五黃 寡無かれ主義を捨て徐ろに進む方が吉き日▲六白 心を碎けつに外に對し寬大なれば吉に向ふ▲七赤 次第に良き運に惠まるゝ日けん勵が第一▲八白 波らんを避け緩みを見て進む様にすれば無事▲九紫 次第に勵に向ふべし博愛の美風を忘るゝな

貯蓄ハ趣味ノ
簡易金融
磐城無盡
縣內各町出張所

晝 診 夜 療
外科一般 內臟外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
血液檢査每日
◎入院隨時
平市新川町(電四六四)
醫學博士 北川芳夫

さかき家
料理部
平田町 電話一七一番

柳川
料理を始メマシタ
尙季節向ノ
御婚禮 御法事 御會食 御宴會
多少に不拘是非御用命の程を

耳鼻咽喉科專門
レントゲン科
高柳醫院
醫學博士 高柳博明
平驛前 電三三六

石川のすきやき鍋
初めました
最近東京で高評有る初夏よりの牛料理は本場肉のすきやきでおろしの美味のよさトーゾ、お試食下さいマシ
牛料理 石川亭
平市田町銀座通り 電話四三番

登録商標 稻萬歲 稻妻
優等賞受領
植田町 古川酒造店吟釀
電話一六番

平病院(平市元共濟病院跡)(電話六四一番)
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏
內科 小兒科 院長 鈴木定藏
內臟外科 一般外科 皮膚泌尿器科 レントゲン科 副院長 高橋俊幸
物理的療法科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診療時間…每日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス(急患ハ此ノ限リニアラズ)

(金銀高價買入マス)
時計メガネ、ハ、ネモトヘ
平市二丁目